

トラック運送事業における
「軽油価格変動への対応策」:その5

エコドライブ(省燃費運転)の実践・推進の事例

現在、日本の軽油価格は120円台後半/L(9月末現在・全国平均)で推移しており、一時期よりも落ち着きを見せているものの、運送事業者にとっては依然厳しい状況です。経営にかかる経費として燃料費(燃料・油脂費)は、人件費に次いで高い割合を占めており、ここの低減が経営維持に不可欠となってきます。

そこで、軽油価格上昇への対応策のひとつである『エコドライブ(省燃費運転)』について、実践法と事例をシリーズで紹介しています。

★エコドライブの実践について:その⑤

■スピードを抑えましょう!

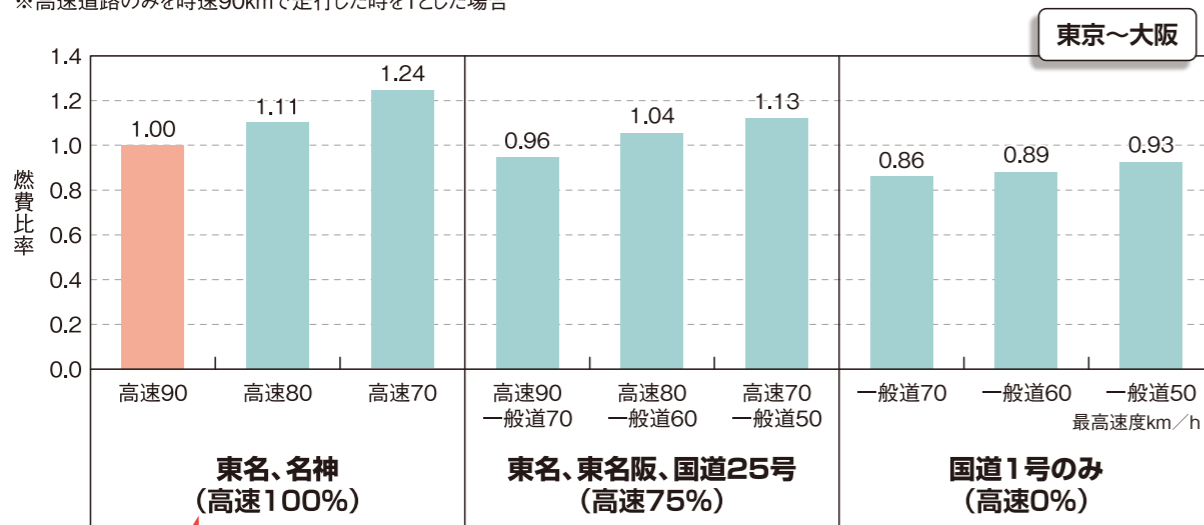
スピードの出し過ぎは燃費の悪化に直結! スピードを抑えることは、安全にもつながります。

Point!

- ①スピードの出し過ぎは燃費悪化の大きな要因のひとつ。
安全の面からも、燃費の面からも車速を抑えることは必要!
- ②できるだけ低いエンジン回転数で
効率よく走行できるスピード(経済速度)を励行しましょう!

●上限速度と燃費のシミュレーション

※高速道路のみを時速90kmで走行した時を1とした場合



高速道走行主体の場合、スピードを10km/h抑えれば燃費は**10%向上!**

●上限速度低減による燃費効果

高速道路では上限速度を抑えることで、燃料代節約に大きな効果が期待できます。時間に余裕がある場合、安全面からも実施すべきでしょう。

Point!

- ①経済速度で効率的な運転を心がけましょう
- ②高速道路でも必ず制限速度を厳守しましょう

※数値は概算です

走行距離km	約500		
	約5時間30分	約6時間30分	約7時間30分
運行時間			
上限速度km/h	90	80	70
km/l(予測値)	3.69	4.1	4.57
燃料消費量ℓ	136	122	110
差ℓ	基準	14	26
1往復分の差ℓ	基準	27	52
月間差(12往復)ℓ	基準	327	629
年間差(144往復)ℓ	基準	3,918	7,545
軽油100円/ℓとして			
差額 円/月	基準	32,700	62,900
差額 円/年	基準	392,400	754,800

80km/hなら約40万円、70km/hなら
なんと約76万円(年間)もおトク!

★エコドライブ(省燃費運転)導入・推進の事例:その②②

「エンジン回転数」に着目し省燃費運転活動を推進

■北海道N社 保有台数 33台

(1)活動経緯

■オイルショックを契機に省燃費運転活動を開始。30年以上の活動実績を持ちます

(2)燃費管理

■デジタコは使用せず、レボタコにてエンジン回転数管理を実施。ドライバーが運転日報に記入

■活動の目標として、燃費だけではなく1kmあたりのエンジン回転数上限も設定

(3)教育

■「ドライバーハンドブック」を作成し、全ドライバーに携帯させています。安全作業のマニュアルをベースに、多種多様な教育資料がつづられています。

■各自がハンドブックを持つことで、いつでも学習できる環境が整っています。また、時代の変化とともに中身が刷新できる仕様(リング式ファイル)にして活用

■独自のキャラクターを作るなど、工夫を凝らした教育資料を自主制作。誰でも分かりやすい内容となっています

(4)独自性

■エコドライブ推進機器やツールを取り入れている事業者が多い中、ハードに頼りすぎずに活動を継続。手作りのツールはオリジナリティに優れており、かゆいところに手が届く内容となっています

〈出所・参考文献〉
独立行政法人 環境再生保全機構「エコドライブ実践事例集」
日野自動車(株)「省エネへの挑戦」
※バックナンバーは日野自動車公式サイトサービス情報に掲載していますのでご参照ください。
<http://www.hino.co.jp/j/service/rashinban/index.html>

日野 経営の羅針盤 検索